

# 平成19年度 事業計画書

本年度における事業は、概ね平成18年度の事業計画に準じて行う予定です。

本年度は、社会的には景気回復の傾向が見られますが、まだまだその好影響が伝わってきてはならず、引き続き厳しい事業展開を余儀なくされるものと考えられます。

収益事業の収入の過半を占める薬品部門は、長期投薬等の影響からここ2～3年処方箋取り扱い枚数が減少傾向にあり、また、平成18年度の薬価の引き下げが予想以上に大きく、平19年度も引き続き収支に大きく影響を受けることが想定されます。

くわえて、食堂、売店、院外薬局及び病棟等の本会が設置した患者サービスに欠かせない設備備品は、開業からすでに10余年を経過しており更新の時期になっているため、2年前から高額な設備備品の更新に対し、年次計画を慎重に検討・確立させ実施していますが、所要経費の支出増をも余儀なくされています。

このような状況下ではありますが、従来にも増して本会事務・事業の合理化・省力化を行い、患者、職員及び利用者の立場に立ったサービス向上のため運営の充実を図り、本会の事業を健全なものにするよう努力いたします。

また、売店及び食堂をメインに協済会全体の事業を「清潔で、明るく、親しみやすく、サービスの行き届いた営業」を目標に、さらには利用者の立場に立って「安全・安心」と「目に見える患者サービス」を心がけます。

具体には、利用者のニーズに合わせた低廉で利用しやすい品揃えやバラエティに富んだ新メニューの提供を行い、患者、職員及び利用者の皆様の一層の利便性を図り、あわせて北海道大学病院患者サービス推進委員会との連携を密にして温室・外来待合室の植栽、鯉の水槽、ふれあいコンサート等をはじめとする患者サービスの助成等を充実させ、ひとときの安らぎをもっといただけるような事業を展開し、北海道大学病院の運営の一助となるよう努力いたします。

さらに、北海道大学病院から委託されているファミリーハウス管理業務については引き続き施設内の環境維持保全を実施し、駐車場管理委託業務については患者等利用者の安全管理及び駐車場内の環境保全を尽くすよう努力いたします。

本年度の事業予算は、下記のとおりです。

摘 要	収 入 額	支 出 額	差引収支差額
一 般 会 計	1,393,760,000 円	1,387,108,000 円	6,652,000 円
駐車場管理委託業務 契約特別会計	57,000,000 円	57,000,000 円	0 円

予算書に基づく事業の概要は、以下のとおりです。

### 大学病院支援事業等経費

<b>事業総額 15,330,000 円</b>
--------------------------

大学病院支援事業等経費の内訳は、次のとおりです。

**1. 医学の研究に関する奨励及び助成：事業額 6,500,000 円**

医学の研究に関する奨励及び助成は本会設立の主要目的の一つですから、従来その目的遂行に努力してまいりましたが、本年度においても医学研究費を北海道大学病院に助成する予定です。

**2. 患者の慰安及び支援：事業額 6,940,000 円**

北海道大学病院の患者の慰安及び支援を行うことも本会設立の主要目的の一つで、従来その目的達成のために助成及び経費負担に努力してきたところであり、本年度においても実績を考慮し、下記のとおり実施する予定です。

あわせて、北海道大学病院患者サービス推進委員会との連携を密にし、新しい患者サービス支援事業の展開にも対応できるように努力をいたします。

- (イ) 患者サービス充実経費助成
- (ロ) 温室管理経費助成
- (ハ) 温室花鉢植栽経費助成
- (ニ) 外来植木鉢借上管理経費助成
- (ホ) 患者慰安写真展経費助成
- (ヘ) 患者慰安花卉展経費助成
- (ト) ボランティア経費助成
- (チ) ふれあいコンサート及び看護の日等行事実施経費助成
- (リ) 患者慰安淡水魚等維持経費
- (ヌ) 精神科神経科病棟生け花及びファミリーハウス盛花等経費
- (ル) 入院患者慰安用品贈呈経費
- (ヲ) BGM放送に使用するCD購入経費
- (ワ) 精神科神経科入院患者小遣い管理経費

**3. 職員及び学生の学事研修に対する奨励：事業額 1,890,000 円**

本年度は、下記のように助成する予定です。

- (イ) 教育奨励費
- (ロ) 看護部研修費

**患者、職員等必需品供給事業経費（事業収入）**

<b>事業総額 1,347,400,000円</b>
----------------------------

北海道大学病院の患者、職員、学生及び見舞人等の皆様の利便を図るため、利用者のニーズに合わせた安価で良品質の品揃えや、日常必要とするものを取り揃える等その事業を下記のとおり実施します。

## (イ) 販 売 業 務

売店及び薬店の商品を充実させるとともに、特売日・特売品等を多数企画し価格の低廉化に向けた取り組みを行い、利用者の利便性・サービスの向上に努力いたします。また、サービスコーナー・薬店においては、患者サービスの観点から診療科より要望が出される医療用用具・用品等を従来同様十分な在庫を行い、いつでも患者に供給できるよう適正価格で販売するよう努力いたします。

## (ロ) 食 堂 業 務

北海道大学病院の患者、職員、学生及び見舞人等の皆様の栄養管理の一翼を担っているとの認識を持ち、カロリー表示メニュー等を取り揃え、かつ、バラエティに富んだメニューの充実及び食材の質の向上に努力するとともに、昨今社会問題となっている食品管理・衛生管理を徹底し、いま以上に利用者が安全で安心して利用できる食堂となるようさらなる努力をいたします。

## (ハ) 薬 品 業 務

北海道大学病院の門前薬局として、院外処方箋により調剤業務と服薬指導を行うとともに、提供薬剤等の種類を拡大し、さらには薬剤師の研修等に積極的に参加をさせ、患者の皆様に質の高い情報提供を行い利便性・サービスの向上を図るよう努力いたします。

## (ニ) 用 達 業 務

サービスコーナーにおいて、下記の業務を行い利用者の利便性を図ります。

### (1) 寝具貸付業務

ナースステーションの許可を得て病院に在院する患者の家族に寝具の貸付

### (2) 電話貸付業務

特別病室及び重症病室における電話の貸付

### (3) プリペイドカード使用によるテレビ・洗濯機及び乾燥機システム貸付業務

入院患者に対するテレビの貸付、病棟洗濯室に設置した洗濯機及び乾燥機の貸付

なお、本年度も引き続き使用済みプリペイドカード5枚(5千円)につき本会のギフトカー1

枚(5百円)を差し上げるサービスを継続いたします。

- (4) コールドロッカー貸付業務  
病棟ディルーム内に設置したコールドロッカーの貸付
- (5) 公衆電話業務  
病院内に公衆電話の設置

(ホ)福利厚生施設として、本会で直接経営することが困難な下記の業務を委託し、業者に対する指導監督を強化して利用者の利便を図ります。

- (1) 理容業務 (2)美容業務 (3)乳製品販売業務 (4)歯科材料販売業務 (5)洗濯物取扱業務

(ヘ)ファミリーハウス  
管理業務

(ト)その他  
電報受付業務、FAX及びコピー機の設置、宅配取次業務

### 駐車場管理委託業務契約特別会計

<b>事業総額 57,000,000円</b>
-------------------------

北海道大学病院外来駐車場(歯科診療センター外来駐車場を含む。)の管理委託業務を受託し、病院構内の安全管理及び環境保全に万全を尽くすよう努力いたします。